



(地方創生推進交付金事業)

平成 30 年度事業分

多世代交流を核とした生涯活躍のまち構想 実施報告書

政策調整課
令和元年8月



目 次

1. 事業実施の趣旨・目的.....	4
2. 多世代交流を核とした生涯活躍のまち構想 全体概要	4
3. 実施内容.....	8
4. 事業費	24
5. 事業の分析	25
6. 事業の効果	26
7. 今後の展開	26





1. 事業実施の趣旨・目的

上牧町は昭和 40 年代からベッドタウンとして急激に発展を遂げてきたが、その時期に転入してきた世代の高齢化が進んでおり、今後も高齢化率の上昇が予想される。さらに子どもの独立などで、独居の高齢者も増えており、少子高齢化は地域コミュニティの衰退を招き、様々な世代の人たちの社会的孤立が課題として浮き彫りとなっている。そうした背景から、地域のつながりの希薄化に歯止めをかけ、高齢者が多世代と交流しながら、活躍する場と機会を創出できる体制を構築し、上牧町が抱えている若者世代の人口減少による将来の担い手不足を、アクティブなシニア世代と小さな子どもからあらゆる世代が協働できる新たなコミュニティの形成や様々な取り組みの実施によって、子どもの地元への愛着を醸成し、将来的な若者の定着につなげることで克服していきたいと考える。本事業においては、元気なシニア世代が有する優れた技術や能力を活用することで、地域の活力の創出や健康寿命の延伸につなげることを目的とするだけでなく、取組みを通じて技術や能力を交流する子どもや若者に継承することが期待されるほか、地域で子どもを育てる機運を醸成し、郷土への愛着や規範意識、学力を育み、子育て環境の充実により、出生率向上への好影響やしごとの創出など、様々な効果を発揮し、町が抱える課題の解決にも寄与するものである。行政においては、その構造的な課題の解決に向けて、受入体制等の環境整備が急務となる。

2. 多世代交流を核とした生涯活躍のまち構想 全体概要

まきっ子塾

- 対象者……………上牧町内在住の小学校 1 年生から 3 年生
ただし、下校の安全を考えて、保護者のお迎えが可能な児童に限られます。
- 場所……………在籍する小学校
- 日程……………毎週水曜日（春休み、夏休み及び冬休みはありません）
- 学習時間……………学校が終わってから、放課後にします（1 時間程度）
*まきっ子塾終了後に学童保育に行かれる児童は学童保育所までお送りします。
- 指導内容……………①学校の宿題 ②早く終わった児童には、学習プリント
- 学習アドバイザー…元教諭、教育大学の学生や将来教師を目指している大学生など
- 自己負担額……………なし



空き家を活用した創業支援

➤ 目的

本町では、少子高齢化対策として、地方創生交付金事業「多世代交流を核とした生涯活躍のまち構想」において、高齢者の健康寿命を延ばし、いつまでも元気で、楽しく過ごせるために、これまでの経験を生かしたり、今までやりたいと思っていたことができる場と機会の創出に取り組んでいます。

少子高齢化、人口減少に伴い、空き家も増加傾向にあり、町の発展の経緯から、今後さらに増えていくことが予想されています。この取り組みをきっかけに、「健康づくり」や「生きがいづくり」、「居場所づくり」、「地域活性化」という地域の様々な課題解決のために、地域の方に必要とされる場所として利用することで、「空き家」を有効に活用できるのではないかと考えているところです。

そして、今年度は「起業・創業」をテーマに取り組み、自分の趣味やこれまで培ってきたノウハウを、誰かに強制されるのではなく、自分の好きなときに、自分の好きなことや得意を生かして、生きがいを持って過ごしていただけるよう、参加者や大学生との交流、創業に関するノウハウや専門的なアドバイス、販路開拓、作業場としての利用など、本格的な創業に向けての貴重な経験を得られる取り組みを進め、参加者の希望を叶えるとともに、地域の活性化にもつなげていきたいとするものです。

➤ 内容

◆ 1-1 SOHO支援窓口の設置

「創業をしたいけど場所がない」、「趣味や特技を生かしたいけど販路がない」、「アイデアはあるけど相談相手や協力者がいない」など、起業・創業を希望する個人を取り巻く環境のなかにネックがあり、あと一歩が踏み出せない状況のかたを支援するため、空き家の一室に SOHO 支援窓口を設置しました。デスクセット、パソコンを完備しており、作業スペースや交流の場としても利用していただくものです。

(実施期間) 平成 31 年 1 月 29 日 (火) から 3 月 29 日 (金) まで

(実施内容) 無料で利用できるネット販売の環境整備や各種支援制度の案内

※ SOHO (Small Office Home Office の略) とは、パソコンやモバイルデバイスなどを活用して、個人または少人数で運営される小規模な事業のことです。働き方改革が推進される中、時間や場所にとらわれないワークスタイルとして注目されています。

◆ 1-2 個別相談会の開催

町内で創業を具体的に検討しているかたに、自身の事業計画や構想の内容について、経営指導員による専門的なアドバイスを受けていただけるよう個別相談会を実施するものです。

(実施日) 平成 31 年 2 月 2 日 (土) 13 時 00 分から 15 時 00 分まで

(連携先) 上牧町商工会

◆ 1-3 出張キッズスペースの開催

子育て期間中の母親や介護中のかたなど、仕事をしたくてもできない状況のかたに、自分の都合に合



わせた働き方を実現できる仕組みを体験していただくとともに、自分のための時間を過ごすことで、いきいきと健康に過ごしていただくため、仕事先での勤務をヨガ教室の参加に置き換えて働き方改革を体験していただくものです。

(実施日) 平成 31 年 3 月 8 日 (金) 10 時 00 分から 13 時 30 分まで

(定員) 12 名程度

(タイトル) 子連れヨガで心身ともにリフレッシュ 出張キッズスペース

(連携先) 株式会社ママスクエア

◆ 1-4 ワークショップの開催

町内の空き家等で実際に起業され、ビジコンなら 2017 で最優秀賞を獲得、その後斬新なアイデアやビジネスプランが各メディアで取り上げられるなど、注目されている若手起業家を講師にお招きし、創業するにあたって必要なビジネスプランの立て方や心得について学ぶとともに、参加者同士で意見交換しながら、実際にビジネスプランを考えるワークショップを実施するものです。

(実施日) 平成 31 年 3 月 13 日 (水) 10 時 00 分から 14 時 00 分まで

(定員) 10 名程度

(タイトル) 「ビジネスプランワークショップ～郊外型創業の可能性について～」

(連携先) 合同会社ヴァレイ

◆ 1-5 創業支援セミナーの開催

町内の空き家を活用し、写真教室とカフェの複合ショップを出店されたのち、行政連携事業や新規事業を数々手がけられ、ブランディングや商品開発の会社を立ち上げられた起業家を講師としてお招きし、創業や集客を考えるとときに必要な心得について、写真家として、また起業家として講義をしていただくものです。

(実施日) 平成31年3月23日 (土) 13時00分から14時30分まで

(定員) 15名程度

(タイトル) 創業で役立つ「写真力」

(連携先) 株式会社青春 (caféナナツモリ)

◆ 1-6 写真展の開催

セミナーで協力していただいた株式会社青春の営む写真教室の生徒の写真家としての経験、また写真に関心のある来場者に、創業や上牧町の魅力に対する関心、そして空き家の利活用について、これからの未来において、事業やイベントを始めるときに、その実施場所の候補として、空き家を選択肢に入れていただくため、創業時における空き家活用啓発イベントとして、写真展を開催する場所として利用していただくものです。

(実施日) 平成31年3月23日 (土) から 3月30日 (土) まで

(連携先) 株式会社青春 (caféナナツモリ)



◆ 1-7 「小さな道の駅」イベントの実施

町内の生産者のほか、起業希望者、趣味でものづくりをされているかたにより出品された生産物や創作品など、上牧町にしかない地域の魅力を集め、空き家を「道の駅」として活用することで、来場者の方にその魅力を知っていただき、参加者の創業のきっかけや地元の生産物、流通商品の高付加価値化につながるため、産直業態イベント「小さな道の駅イベント」を開催するものです。

(実施日) 平成31年3月23日(土) 10時00分から17時00分まで

(連携・協力先) パンマルシェ「縁や」、木工房ピッキオ、合同会社ヴァレイ、上牧町商工会女性部、上牧町ふれあい朝市会、上牧町社会福祉協議会、上牧町シルバー人材センター、奈良県立大学

➤ 事業費

1,707,870円(賃借料、備品購入費)

➤ 実施場所

上牧町大字上牧2576番地(町内空き家)

➤ 実利用者

SOHO … 45人(団体)(支援窓口、個別相談会、働き方改革体験、ワークショップ、セミナー、小さな道の駅)

写真展 … 60人

➤ イベント来場者

小さな道の駅イベント … 約 500 人

アクティブシニア移住支援コンシェルジュ開設

➤ 目的

あらゆる世代にとって暮らしやすいまちづくりの推進の一環として、高齢者が希望や生きがいを持って暮らすことができるよう、様々な取り組みを実施しているなかで、取り組みに関する情報発信とともに、上牧町への移住を検討しているかたに対し、検討の段階から移住後まで切れ目のないサポートを実現できるよう、ワンストップ窓口を開設するもの。

➤ 開設日

平成 29 年 12 月 28 日(木)

➤ 事業費

昨年度設置済みのため費用なし

➤ 実施方法

対面式デスクを設置

➤ 開設場所

上牧町役場 2 階 政策調整課

➤ 対象

①上牧町内在住または在勤のかた

②上牧町への移住を検討されているかた



3. 実施内容

まきっ子塾 …… 別紙資料

空き家を活用した創業支援

★全体概要

1-1 SOHO 支援窓口の設置

起業・創業を希望する個人を取り巻く環境のなかにネックがあり、あと一歩が踏み出せない状況のかたを支援するため、空き家の一室に SOHO 支援窓口を設置しました。

ここでは、インターネットを活用して無料で出店できるサービスの紹介や起業・創業の支援制度の案内などを行いました。



1-2 個別相談会の開催

上牧町商工会と連携し、起業・創業を検討している方を対象に、今後の事業化に向けての個別具体的な相談に対する今後の事業の立ち上げ・運営に係る専門的なアドバイスを行いました。





1-3 出張キッズスペースの開催

○実施概要

本町では、子育て期間中の母親を対象に、育児の都合に合わせた働き方を実現できる環境整備として、テレワークを導入するとともに、子どものそばで安心して働けるよう、ワーキングスペースと託児スペースをガラス1枚の壁で隔てた事業拠点を整備し、出産や社会復帰など、自己実現を支援する「子育てママ就業支援事業」を実施しています。

就業支援事業に関する業務を委託している専門事業者で、現在ささゆりルーム 1 階（アピタ西大和内）の事業拠点の運営をしていただいている株式会社ママスクエアと連携し、出産や育児、家事、介護などで働きたくても働けない状況のかたに、自分のための時間を過ごすことで、いきいきと健康に過ごしていただくため、仕事先での勤務をヨガ教室の参加に置き換えて働き方改革を体験していただきました。

タイトル	子連れヨガで心身共にリフレッシュ 出張キッズスペース
日時	平成 31 年 3 月 8 日（金）10：00～13：30
連携事業者	株式会社ママスクエア
講師	冨塚 千秋 氏
参加者	6 名
内容	ヨガを通じて、家事や育児、介護等で溜まったストレスや疲れを解きほぐし、自分のために時間を使うことで、健康や生きがいを取り戻す。

○開催案内

出張キッズスペースの開催にあたっては、案内チラシを作成し、庁舎への設置、上牧町ホームページ掲載、アピタ店舗内掲示、3 歳児検診での呼びかけなど、広く周知しました。

子連れヨガで心身共にリフレッシュ!!
★出張キッズスペース★

参加費 無料!

母親になった瞬間から自分のペースではなく、お子さんや家庭のペースで生きていくこととなりますね。知らず知らずに疲れやストレスが溜まっていることに気がつかずに毎日頑張っているココロとカラダを緩めましょう★

●産後の骨盤を整える事でホルモンバランスも改善!
●女性特有の悩みを改善(冷え、生理痛、だるさ等)
●日頃の疲れを癒して楽しく子育てしませんか?

講師 冨塚千秋(とみづかあき) 全日本ヨガインストラクターとして活躍中

＜講座予定＞
10:00～10:15 受付(15分)
10:15～10:30 事前説明(15分)
10:30～11:45 女性からヨガ講座(75分)
11:45～12:15 お昼休憩(30分)
12:15～13:30 ヨガ(75分)

＜場所＞
〒829-0214 上牧町大字上牧2576番地
(三軒屋交差点を東方向に約150m)
※アピタ西大和店より徒歩10分
※駐車場有

＜定員＞
12名程度(先着順・事前予約優先)

＜持ち物＞
飲み物・変換・動きやすい服装
タオル・ブランケット(必要な方)

＜事前予約制＞
上牧町役場就業支援課 電話0745-76-1001 (内線237、238)
※催し者氏名、連絡先、本人とお子さん人数、お子さんの年齢をお電話にてお伝えください。
※参加対象：上牧町へ住まいの自営自足可能なお母さん。
※お子さんの体調などにより、受け入れをお断りする場合があります。
※休憩時間(30分)はお昼休憩となります。

生理不調の解消...
身体の歪みを整えたいけど...
どうすればいいかわからない...
身体を動かしたいけど...
子どもの預け先がない...

※ヨガマットは準備しておきますがご持参いただいてもOKです。

主催：上牧町
協力：ママスクエア





○プログラム

次第	概要
開会あいさつ	・主催者（上牧町役場）による開会あいさつ
事業報告	・町の創業支援等の説明・報告
講義	講師 富塚 千秋（ヨガインストラクター） 75分（女性のからだ講座）
質疑	10分程度
休憩	1時間程度
実技	60分程度（ヨガ）
閉会	・アンケート回答後、退出

○講師プロフィール

富塚 千秋（ヨガインストラクター）

母活コンダクター、触育士、母と子タッチセラピー講師、女性のからだ講座講師として、奈良、京都、梅田で、マタニティヨガや女性のための教室を展開中。

スタジオアリスマタニティセミナーを各地で行う。

一人でも多くの妊婦さんが、幸せな出産ができるように心をこめて活動されています。





○出張キッズスペース 開催風景



ヨガ教室



1-4 ワークショップの開催

○実施概要

町内の空き家等で実際に起業され、ビジコンなら 2017 で最優秀賞を獲得、その後斬新なアイデアやビジネスプランが各メディアで取り上げられるなど、注目されている若手起業家を講師にお招きし、創業するにあたって必要なビジネスプランの立て方や心得について学ぶとともに、参加者同士で意見交換しながら、実際にビジネスプランを考えるワークショップを実施しました。

タイトル	ビジネスプランワークショップ ～郊外型創業の可能性について～
日時	平成 31 年 3 月 13 日 (水) 10:00~14:00
連携事業者	合同会社ヴァレイ
講師	谷 英希 氏
参加者	10 名
内容	自身の経験談をもとに、実践で必要となる基軸、ビジネスプラン、心構えなどについて講義。その後郊外型創業の可能性に迫るため、テーマを設定しワークショップを行う。

○開催案内

ワークショップの開催にあたっては、案内チラシを作成し、庁舎への設置、上牧町ホームページ掲載、アピタ店舗内掲示、奈良県内の創業支援団体や大阪市内のコワーキングスペースや SOHO 支援スペースへの設置など、広く周知しました。





○プログラム

次第	概要
開会あいさつ	・主催者（上牧町役場）による開会あいさつ
事業報告	・町の創業支援等の説明・報告
講義	講師 谷 英希（合同会社ヴァレイ 代表社員） 45分（実践で必要となる基軸、ビジネスプラン、心構えなど）
ワークショップ	地域、業種などの起業する際の条件や特性を分析したうえで、上牧町のような郊外で成功するビジネスプラン、仕組み、経費、目標（売上年間 2,000 万円）について考える
休憩	1 時間程度
発表	30 分程度
審査・総括	最優秀賞の決定、アドバイスなど
閉会	・アンケート回答後、退出

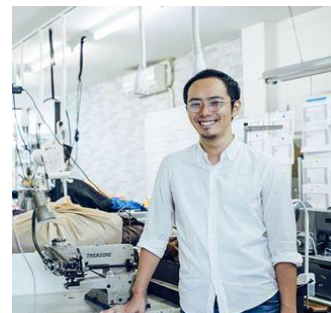
○講師プロフィール

谷 英希（合同会社ヴァレイ 代表社員）

実家は縫製工場を営んでいたが、俳優を志し専門学校へ入学。テレビ局の演出助手や監督補佐などを担当し、自身も俳優としてドラマ出演を果たす。

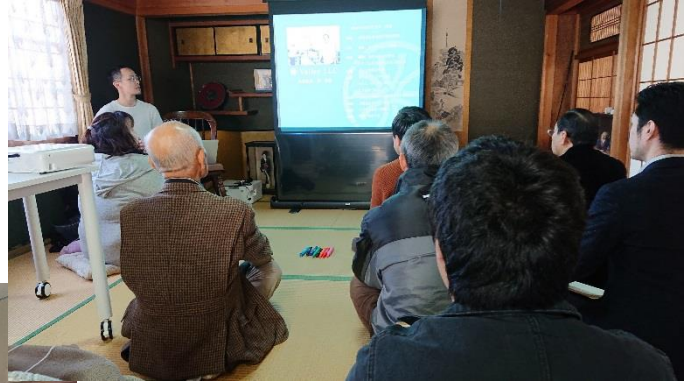
24歳で芸能界を引退し、オーストラリアでのボランティア活動を経て1年で日本に帰国する。

帰国後、日本の縫製業を復興させるため、企画製造を手掛ける新しいビジネスモデルを考案。家業を発展させるかたちで、「合同会社ヴァレイ」を設立する。



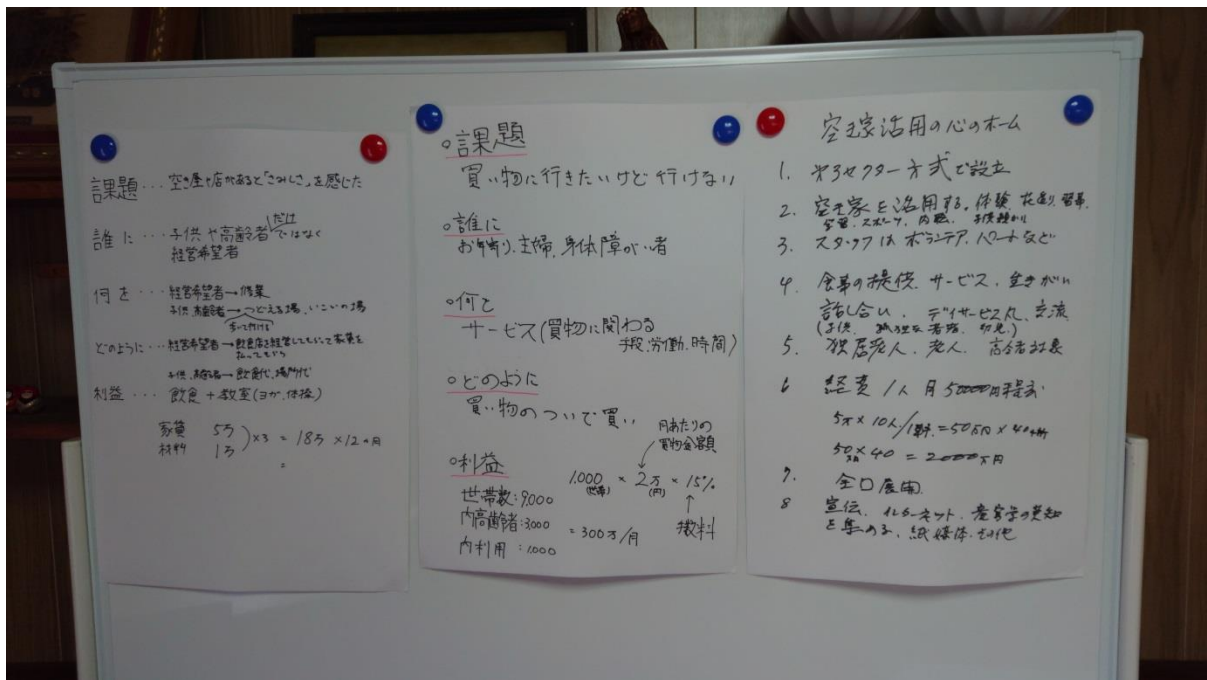


○ワークショップ 開催風景



ワークショップ

ワークショップ





1-5 創業支援セミナーの開催

○実施概要

町内の空き家を活用し、写真教室とカフェの複合ショップを出店されたのち、行政連携事業や新規事業を数々手がけられ、ブランディングや商品開発の会社を立ち上げられた起業家を講師としてお招きし、創業や集客を考えるとときに必要な心得について、写真家として、また起業家として講義をしていただきました。

タイトル	創業に役立つ「写真力」
日時	平成 31 年 3 月 23 日 (土) 13:00~14:30
連携事業者	株式会社青春
講師	田村 広司 氏
参加者	12 名
内容	誰にでも身近な存在になった「写真」について、撮るときや使うときに必要な心構えや準備のほか、創業時にも通じる考え方を、集客イベントや新規イベントを手掛けられている実践者として講義していただく。

○開催案内

セミナーの開催にあたっては、案内チラシを作成し、庁舎への設置、上牧町ホームページ掲載、アピタ店舗内掲示、奈良県内の創業支援団体や大阪市内のコワーキングスペースや SOHO 支援スペースへの設置など、広く周知しました。





○プログラム

次第	概要
開会あいさつ	・主催者（上牧町役場）による開会あいさつ
事業報告	・町の創業支援等の説明・報告
講義	講師 田村 広司（株式会社青春 代表取締役） 60分（「写真」を生かした集客ツールの作成における心構えなど）
質疑応答	
閉会	・アンケート回答後、退出

○講師プロフィール

田村 広司（株式会社青春 代表取締役）

写真撮影業務と同じくして写真教室を開始、今期で11年目を迎える。廃倉庫をリノベした手作りの卒業制作展や、地域を巻き込んだチームで戦うフォトカップ、障害福祉施設での大規模写真撮影会など、様々な企画を展開。写真を「カメラの技術」として捉えるではなく、その周辺にある「副産物」にフォーカスした独自の写真教室を確立、これまでのべ1000人以上に写真の楽しさを伝える。





○セミナー 開催風景



セミナー



1-6 写真展の開催

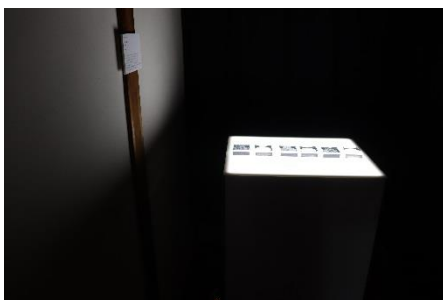
○実施概要

セミナーで協力していただいた株式会社青春が営む写真教室の生徒（町民）の写真家としての経験、また写真に関心のある来場者に、創業や上牧町の魅力に対する関心、そして空き家の利活用について、これからの未来において、事業やイベントを始めるときに、その実施場所の候補として、空き家を選択肢に入れていただくため、創業時における空き家活用啓発イベントとして、写真展を開催する場所として利用していただきました。実施にあたっては、cafeナナツモリの写真教室とカフェの全く異なる業種による複合ショップの展開にヒントを得て、「小さな道の駅イベント」と複合型で実施し、あえて重複しない客層の来場者にそれぞれの魅力に触れていただくことで、相互の集客力向上につなげ、より効果を高める狙いで実施しました。

タイトル	青春写真教室卒展
日時	平成 31 年 3 月 23 日（土）から 3 月 30 日（土）まで
空き家利用者	株式会社青春
生徒数	60 名



○写真展 開催風景





1-7 「小さな道の駅」イベントの実施

○実施概要

町内の生産者のほか、起業希望者、趣味でものづくりをされているかたにより出品された生産物や創作物など、上牧町にしかない地域の魅力を集め、空き家を「道の駅」として活用することで、来場者の方にその魅力を知っていただき、参加者の創業のきっかけや地元の生産物、流通商品の高付加価値化につなげるため、産直業態イベント「小さな道の駅イベント」を開催しました。なお、連携実施にあたっては、セミナー実施において連携している町内事業者「株式会社青春」が経営する写真教室の写真展と同時開催することで、上牧町を知らないかたや写真に関心のないかたに対し、それぞれの知らない魅力に触れ、地域の活性化につなげたいと考えたものです。

タイトル	小さな道の駅イベント
日時	平成 31 年 3 月 23 日（土） 10：00～17：00
連携事業者	奈良県立大学 合同会社ヴァレイ パンマルシェ「縁や」 木工房ピッキオ 上牧町シルバー人材センター 上牧町ふれあい朝市会 上牧町社会福祉協議会 上牧町商工会女性部
来場者	約 600 人
内容	高知県特産品、オシャレなボタン、調理パン、木工品、さをり織製品、とれたて野菜、パウンドケーキ、豚汁定食など



○開催案内

小さな道の駅の開催にあたっては、会場周辺の混雑等を考慮し、ペガサスフェスタと同様、上牧町ホームページ及び広報かんまき3月号への記事掲載の通常周知のみにしました。

多世代交流を核とした生涯活躍のまち構想 創業支援事業
空き家を使ってしごとを創出
まちとひとを元気にする

**上牧町×奈良県立大学
空き家活用プロジェクト 第2弾**

SOHO支援窓口	ワークショップ	創業支援セミナー
期間 1/29(火)～3/29 時間 9:00～17:00 内容 ①SOHOに関する相談・体験 ②空き家での新築体験 ③各種支援制度のご案内など	タイトル ビジネスプランワークショップ ～専ら創業の成功のために～ 日時 3/13(水)10:00～14:00 定員 10名程度 協力 合同会社ヴァレイ 谷 英希 氏	タイトル 創業で役立つ「写真力」 日時 3/23(土)13:00～14:00 定員 15名程度(当日参加可) 協力 株式会社青書 田村 広司 氏
ヨガ教室	道の駅イベント	アクセスMAP
タイトル 宇美れ出がで心豊かにもリフレッシュ 日時 3/8(金) 10:15～13:30 定員 12名程度(当日参加可) 協力 株式会社ママスクエア	日時 3/23(土)10:00～17:00 参加 ①上牧町ふれあい朝市会 ②上牧町シルバー人材センター ③上牧町商工会女性部 ④上牧町社会福祉協議会 ⑤奈良県立大学 ⑥合同会社ヴァレイ ⑦木工房ピッキオ その他イベントも 盛りだくさん！	

“生きがい”が見つかる、新たな人生の第一歩を応援します！

問合せ
上牧町企画政策調整課
TEL0745-76-1001(内線237, 238)

住所:上牧町大字上牧2576番地
(三軒堂交差点を東(MAP矢印の方向)へ進んでください)
※駐車スペースがありますので、お車の来場も可能です。

広報かんまき

小さな道の駅イベント 3月23日(土) 10:00～17:00

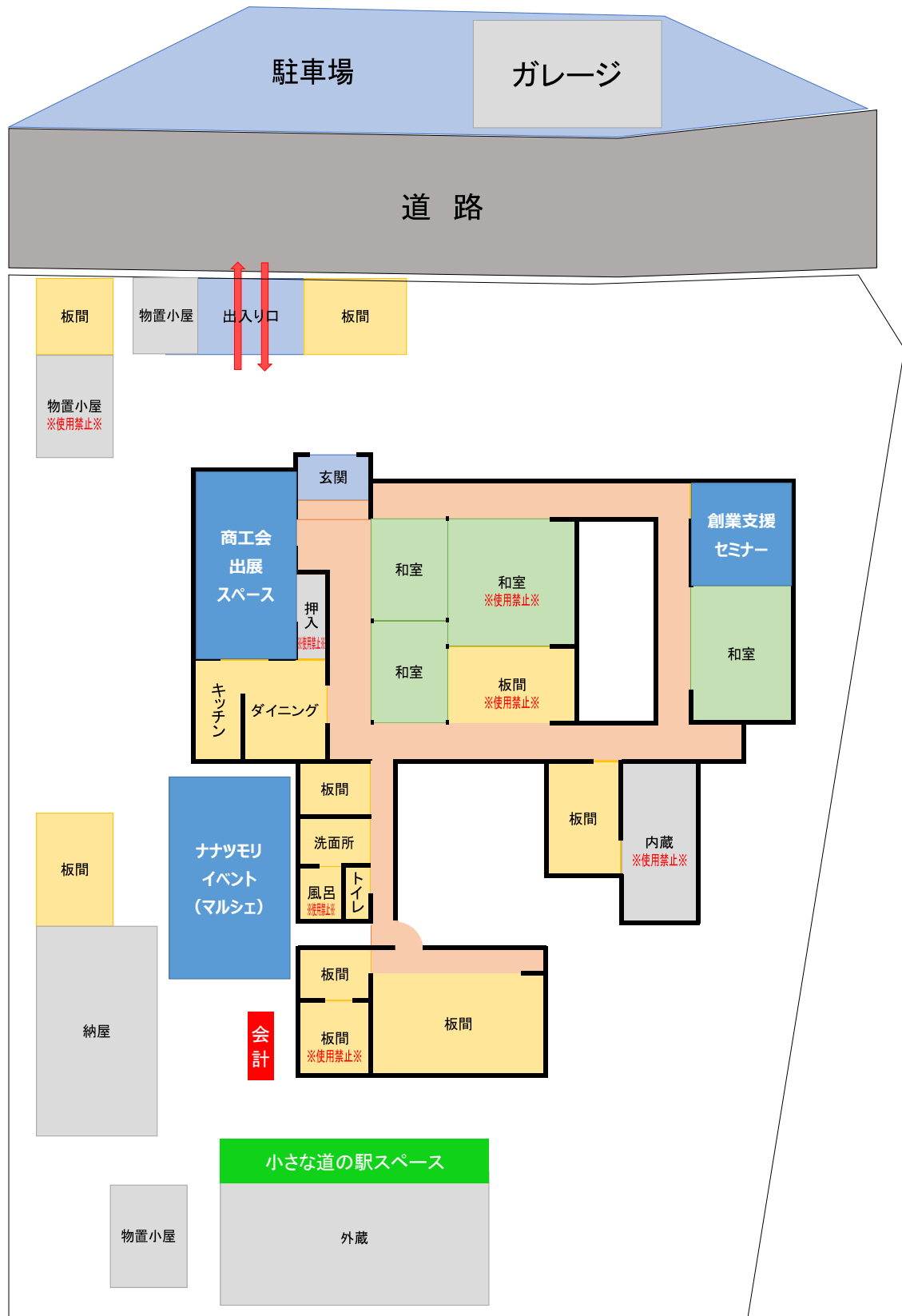


★出展団体一覧★

上牧町ふれあい朝市会 上牧町産の新鮮野菜を販売します！ 販売物 おいしい採れたて野菜 <small>本茹・ぼたもち・水菜・小松菜・ワケガサ・大根・葉の形・レタス・お餅・かぼち・イチゴ・切り花など</small>	上牧町社会福祉協議会 スイーツ甲子園(奈良大会)グランプリ受賞の絶品！ 販売物 花橘の薫 パウンドケーキなど
上牧町商工会女性部 豚汁を食べて身体を温めてください！ 販売物 豚汁定食 <small>豚汁・古代米ごはん・お酒物</small>	上牧町シルバー人材センター かわいい小物がたくさんあります！ 販売物 各種さもり織製品 かばん、マフラー、帽子、小物など
奈良県立大学 高知県の特産品を提供します！ 販売物 高知県特産品 しょうが、干し芋、スナッパスんどうなど	合同会社ヴァレイ 上牧町発のオリジナルブランド商品です！ 販売物 各種衣料品 スタンダードシャツ、キッズ衣類など
木工房 ピッキオ 上牧町でつくられている手作りの木工品です！ 販売物 各種木工品 <small>窓簾板、伸縮イス、スツール、ランチョンマット、おしぼり置き、形張付4段引き出しなど</small>	緊急告知 出展者募集! 小さな道の駅イベントでは、本町内で生産、販売されている販力物に多くの方々に買ってもらいたいため、創業支援事業の協力者、参加者以外の一般の方にもご参加いただけるよう、出展者の募集を行います。(応募条件) ○町内在住、または町内に事業所を有する方(締切) 平成31年3月8日(金)まで ※応募者多数の場合は抽選を行います。



○会場図





○小さな道の駅 開催風景





アクティブシニア移住支援コンシェルジュ

- あらゆる世代にとって暮らしやすいまちづくりの推進の一環として、高齢者が希望や生きがいを持って暮らすことができるよう、上牧町への移住を検討しているかたに対し、検討の段階から移住後まで切れ目のないサポートを実現できるよう、ワンストップ窓口を開設しました。情報発信として、起業・創業支援や生涯学習講座のチラシ等も設置しました。



4. 事業費

総事業費（実績） 1,707,870 円

※国費 50%/地方創生推進交付金

★ 空き家を活用した創業支援事業

- 使用料及び賃借料：580,644 円
- 備品購入費①（パソコン及び周辺機器等）：570,000 円
- 備品購入費②（デスクセット等）：557,226 円



5. 事業の分析

アンケート調査

➤ 調査の概要

平成 31 年 1 月 29 日（火）～3 月 30 日（土）において、空き家を活用した創業支援における施設利用者及び参加者を対象にアンケート調査を実施しました。

➤ 調査の方法及び概要

対 象：空き家を活用した創業支援における施設利用者及び参加者

調査方法：直接記入

調査時期：平成 31 年 1 月 29 日（火）～平成 31 年 3 月 30 日（土）

回収状況：29 票（回収率 74.3%）

➤ アンケート回答（一部抜粋）

Q2.参加（利用）された理由を教えてください。（複数回答可）

- ・ 起業や創業を具体的に考えているから … 7 名
- ・ 趣味を生かしたいから … 7 名
- ・ 事業や活動を継続、発展させたいから … 7 名
- ・ 起業や創業に興味があったから … 4 名
- ・ 地域の産業に関心があったから … 5 名
- ・ 知り合いから勧誘、紹介されたから … 2 名
- ・ ヨガが好きだから … 2 名
- ・ 町内で事業を運営しているから … 1 名

Q3.参加（利用）されて起業や地域の産業への関心は高まりましたか？または今後の活動に役立つと考えますか？

- ・ はい … 28 名
- ・ いいえ … 0 名

Q4.空き家の活用方法として、しごとの創出に生かすのは有効だと考えますか？

- ・ はい … 27 名
- ・ いいえ … 1 名

Q5.上牧町の空き家を活用して起業してみたいと思いましたが？

- ・ はい … 11 名
- ・ いいえ … 9 名
- ・ その他 … 8 名



Q6.創業にあたって必要だと考えるポイントを教えてください。

【主な意見】

- ・ 補助金等の支援制度 …… 8名
- ・ ビジネスプラン …… 4名

【その他の意見】

- ・ ストーリー性を持たせる。
- ・ 行政側から低価格での空き家の紹介やあっせんがあるとありがたい。
- ・ 上牧町でいろんな人が交流できる場所があればいいなと思いました。
- ・ アピール力
- ・ 写真力
- ・ 付加価値
- ・ 成功者の体験談セミナー
- ・ 地元の問題も一緒に解決すること
- ・ 産官学の英知を集めること
- ・ 熱意のある協力者
- ・ 行政や地元（地域）とのつながり

6. 事業の効果

★ 地方創生推進交付金実施計画における KPI（重要業績評価指標）

- 人財バンク登録者数 50人（平成30年度終了時点）

実績 29人（平成30年度終了時点）

※上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略における KPI…50人（平成30年度終了時点）

- 60歳以上の転入者数 200人（平成30年度終了時点）

実績 166人（平成30年度終了時点）

7. 今後の展開

① まきっ子塾

子どもの学力向上はもとより、退職した元教職員を指導員に起用することで、自活可能な高齢者を増やしつつ、高齢者の健康づくり、生きがいづくり、地域づくりに向けて、高齢者と多世代が交流しながら、活躍する場と機会の創出するコミュニティとして期待される「まきっ子塾」を継続します。

② 空き家を活用した起業・創業支援事業

アクティブシニアを中心に起業・創業を目指すかたが利用できるスペースとして、町内空き家の有効活用します。



③ アクティブシニア移住支援コンシェルジュ

アクティブシニアの移住希望に対し、切れ目のないサポートを行うとともに、取り組みに関する情報発信を継続して行っています。